

電動式分解型小型ボーリングマシン

先般、動力にエンジンを使用した超軽量化・分解型小型ボーリングマシン（YHP-1）を設備してから、搬入条件の厳しい取水堰等の現場で使用してきましたが、お客様から「搬入が楽なので、今後は地下通路、導水トンネル及びダム監査路内などの調査に使いたい」との声をいただいております。

エンジン式のマシンでは、閉鎖された空間での利用には排気ガスが懸念される場所でしたが、ご要望にお応えすべく、電動式のYHP-1を特注で製作し、実戦配備いたしました。

電動式YHP-1は、エンジン式のものと同じく総重量が183kgと軽量で、かつ8個口（最大重量30kg）に分解できますので背負子を使った人力運搬が可能です。閉鎖空間でも排気ガスを気にせずにご使用いただけますので、多方面でお客様のご期待に添えることができると確信しております。

弊社では、お客様のあらゆるニーズにお応えするため、今後とも多様なボーリングツールとスキルをご提供して参りますので、引き続きご用命頂ければ幸いです。

超軽量 分解型 電動式(インバータモデル) 小型ボーリングマシン YHP-1



<仕様>

- 穿孔能力：呼称深度10m
- ・動力：モータ出力3.7kW(200V) 重量30kg
- ・スピンドル内径：43mm
- ・スピンドルストローク：500mm
- ・スピンドル回転数：0~440min⁻¹(インバータ制御)
- ・インバータ制御盤重量：20kg
- ・YHP寸法：横590mm×縦1,490mm×高さ1,530mm
- ・YHP重量：183kg（最大分解重量30kg）

※(株)ワイビーエム社資料による

超軽量・分解型で人力運搬可能

総重量183kgと超軽量で、最大で8つのパーツ（最大で30kg）に分解することができるので、背負子を使えば人力で運搬することが可能です。

人が歩いて行ける場所ならどんな場所でも搬入できますので、機材の搬入が困難な山地や河岸、及び搬入制限のある市街地の狭隘地、導水トンネル等の地下空間での調査で力を発揮します。

閉鎖空間でも排気ガス対策は不要

基本的な構造はYHP-1と同じですが、モータで動きますので、電力があれば、排気ガス対策を要する地下室やダムの監査路及びトンネル内などの地下空間で削孔できます。

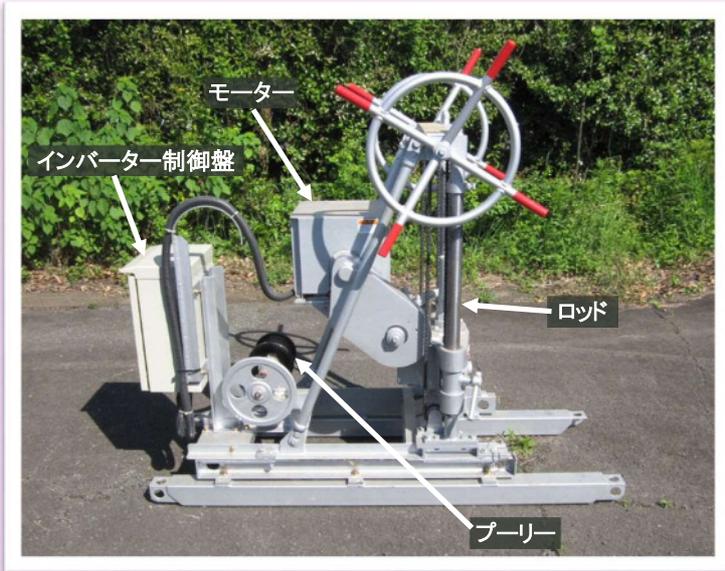
高品質なサンプリングを提供

軟弱地盤から岩盤まで掘削でき、通常のボーリングと遜色ない、高品質のサンプリングが可能です。機械の能力としては、通常のボーリングと簡易ボーリングの中間に位置しており、深度10~15mまで掘削できますが、崩壊性の高い地質や回転トルクが増大する地層では、掘削できる深度が10mより浅くなる場合もあります。

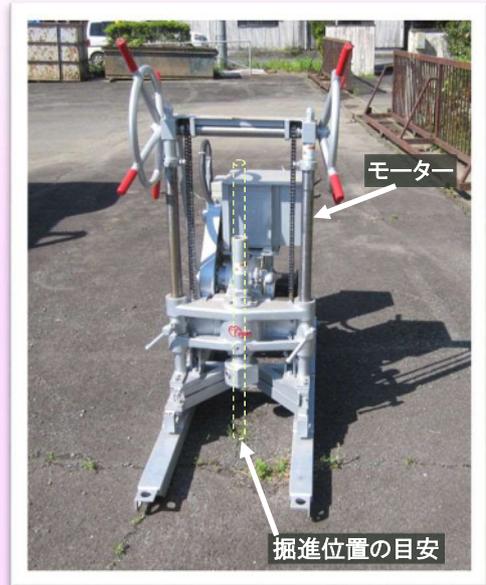
標準貫入試験も出来ます！

深度10~15mまでの浅尺ボーリングであれば、付属のプーリーを使って標準貫入試験を実施できます。なお、標準試験に用いるモンケン3分割して持ち運びできます。

機械の構成



<側面からの全体図>



<ハンドル側から見た図>



<制御盤側から見た図>



<制御盤拡大図>



貫入試験も実施
できます。
※写真のマシンは
エンジン式のYHP-
1です。

ご提案

◆搬入通路の狭い地下構造物内での地質調査に

通常のボーリングマシンの搬入が困難で、しかも排気ガス対策を要するような地下通路や導水トンネル内などの地質調査に適しています。また、このマシンは土質から岩盤までの削孔に適しているため、ダム等の監査路内での浅尺ボーリングにも適用可能です。

◆道路から離れた山地部や河川堤防などの地質調査に

通常のボーリングマシンでは搬入にモノレールを必要とするような山地部の鉄塔調査や河川堤防の法尻付近での浅尺ボーリング（深度10～15m程度）に適しています。

◆住宅密集地の地盤調査に

103cm×74cmと畳一枚のスペースにマシンの据付けが可能ですので、狭隘地でのボーリング調査に適しています。機材は分解して人力で運びますので、搬入が困難な住宅密集地の狭隘通路でも対応できます。また、電動式ですので騒音が問題となる住宅密集地でのボーリング作業で威力を発揮します。

「電動式分解型小型ボーリングマシン」について、ご質問等がございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

ヤシマ カイハツ
八洲開発株式会社

〒862-0920 熊本県熊本市東区月出1-1-52
TEL:096-384-3225 FAX:096-382-7039
URL: <http://www.yashima-geo.co.jp>